

183

こんにちは。塾長の大井です。

4月は新しい始まりの季節、出逢いの季節ですが、TOPにおいても同様です。学校でもひとつ学年が上がるのを機に、新たな学びの場を求めて、TOPの門を叩く入会希望者が多くいらっしゃいます。

その中で、他塾でどうも伸び悩み、転塾を検討されている方がいました。体験授業を受けた後、見学されたご両親が「素晴らしい授業でした。ぜひ入会したいです。」と言われていましたが、ひとつネックがありました。

「これまで体中やる気スイッチを探しましたが、どこにも見つかりませんでした。」

そうご両親がおっしゃっていたことです。

今TOPでもがんばる生徒の割合が大きく上がり、簡単には入会を認めていません。入会の際、最も私たちが重視する資質がこの意志の強さや覚悟の堅さです。たとえどんなにご両親が入会を希望されても、本人の意志がなければいい受験にはならないからです。

「少しでも迷いがあるなら、やめておいた方がいい。決して甘くはないからね。」

とその意志を問いましたが、その子はやりたいと言いました。

ですが、実際授業を受けてみると決して悪くはありません。むしろ頭を使い続けること、一生懸命全力でやること、そんな TOP の文化に触れて、張りきってやっていく様子が見て取れました。(その前向きさは同時期に入会したもう一人の生徒も同様でした。)

さらに最初の解き直しで授業日以外に呼んだ時のことです。

雑さを指摘し、丁寧にやるよう言い、やり方を詳細にわたって説明しました。すると、一問ずつ自分のノートを見せに来る前のめりぶりで、ひたむきにやっていました。

そして目途が立ち、学校行事があったその子には今日はもう帰るよう声をかけたら、

「帰らない。帰ったら寝ると言われるからまだやる。」

と言ってやり切りました。(この姿勢もまた、つまりながらもがんばったもう一人も同様でした。)

もちろん、彼らのがんばりは新鮮さから来る初心者の勢いかもしれません。

それでも、子どもは環境の生き物です。

本気の大人の熱の下では、彼らはそれを感じ、それに応え、そして本気でやる喜びを体感していきます。

「やる気スイッチ」——TOP はそれをどこよりも探し出し、力強く押せる場所でありたいと思っています。

2018年4月23日

大井雄之